

第19号

平成20年12月

●スペースパークボランティアの会●

S.P.Vつらしん

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会 〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201

夢をレールに乗せて! 鉄道記念日特集!



私たちのボランティア活動

…生涯学習

今年も鉄道記念日に近づいて
来た時に「全国生涯学習フェス
ティバル」と同時になり、皆に楽し
んでもらおうとはりきりました。

郡山は、鉄道と、安積疊水によ
り発展した町です。特に鉄道に関

係ある方々が多く住んでいる街です。昔懐かしい国鉄時代
のグッズを展示しました。お爺ちゃん、お父さんの古き時代
を思い出して楽しかった事、苦しかった事を思い出してもら
いたかったです。

子供たちには、新しい新幹線。Nゲージ(渡辺知彦さん所
有)で楽しんでもらう事にしました。毎回Nゲージには常連
客が居り、次の開催日を尋ねられる事が多くあります。

又、小さなお子さん達は動いている
電車を見ては、「オウー」とか、アレ・
アレと声を出しながら、順番を待ち
きれなく愚るお子さんも居りました。しかし駅長の帽子を被り「出
発進行!」と叫び電車が動くと、
ニッコリ笑顔が出来ます。

これがボランティアの、本当の生涯
学習と信じています。(浅利 正美)



ボランティア活動に参加し2年目、楽しく活動に参加してい
る処である。

この一年を振り返ってみると、GWの開成山での「子ども
祭り」にD51愛護会における参加一助を行い、又、夏休みに
は、イオンタウンでの「鉄道に関する品々の展示」、つい最
近では日大の「北桜祭」にも参加協力要請の声で、D51愛護
会からの参加で大盛況となった。その際「ボランティア活動ご

苦労様です。応援しています。」の声を
耳にした。

ボランティア活動を通じ、地域の方々
にボランティア活動への理解を得るばか
りか、楽しさをも味わったものである。

今後も、楽しみながら、いずれのパー
トの方々と共に、ボランティア活動の輪
を広げ、成長させたいと思うところで
ある。
(小針 一夫)



スペースパークボランティア募集!

※無償参加可能な方。他応募条件有り。詳しくはお問い合わせください。
郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボラン
ティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 管理課

TEL024-936-0201

まなびピアふくしま2008 in こおりやま駅前広場

天文 グループ



望遠鏡でナマの太陽を見る会

望遠鏡で燃えさかる太陽のプロミネンスを観察する！
皆さんがあまり経験のないことを体験してもらおうと「まなびピア」にあたり企画しました。

郡山駅前西口広場で警察音楽隊による勇壮なバンド演奏とともに「太陽観望会」の幕が開きました。初日は薄曇りでなかなかお日様が顔を出してくれず、時折北風の吹く時雨模様だったりと、見に来られたお客様に「太陽はまだ今お休みで～す」と言い訳しながら実際に見たときの様子をお話しされるのがせいぜいででした。

2日目からは太陽も顔を出し、水素の燃焼？の様子を見ることが出来る特殊な太陽望遠鏡で太陽表面の活動を、もう1台の望遠鏡では黒点活動の様子をみていただきました。

また、国立天文台准教授の渡部潤一先生がサプライズ来場され会場の様子を楽しんで行かれました。



3日目に待望の秋晴れとなり絶好のコンディションで今までに起きていたるプロミネンスやダークフィラメント、プラージュなど激動

するナマの太陽を観察していただきました。ほとんどの方が望遠鏡で太陽を見るのは初めてで「大丈夫なの？」と言われましたが、安全に配慮した機材を使いましたので見る前の不安よりも見たあとの感動の方が大きかったようです。3日間通わされた熱心なリピーターの家族もいらっしゃいました。

この「まなびピア」を通して私の体験や知識が大勢の方に新たな体験や知識として共有することが出来たと思います。またそれらを発信できることは楽しみながら自分自身を高めていく……生涯学習といわれている何かが少し分かったような気がします。

(挙 芳光)

科学 グループ



10月11日(土)～13日(祝)の3日間、郡山駅前広場にて行われた「第20回全国生涯学習フェスティバル まなびピアふくしま2008inこおりやま」に私たちS.P.Vも出展し、パートナーとして盛り上げました。

出展内容は、参加体験コーナーにて、ストローで作る「くるくるタワー」や「紙トンボ」、「ぶんぶんゴマ」など親子でチャレンジできる工作教室でした。

小学生以下を対象にした簡単なものづくりですが、親御さんも子供が作ったもので遊ぶ姿が見られました。

特に「ぶんぶんゴマ」は厚紙で作ったコマに糸を通すだけの工作ですが、コマを廻すのに親子共々真剣な表情でした。高校生たちも幼少の頃に作って遊んだことを思い出し、友だち同士でチャレンジしており、コミュニケーションが図られたのではないかと思います。



また、工作だけではなく、科学館で開催中の「鉄道フェスティバル」をPRするために、恒例となりました「THE(ジ)転車でGO！」を、子供たちがペダルを踏んで発電させてNゲージを走らせるのですが、小さい子供は足が届かないで、手でペダルを元気よく廻していました。

もしかすると、初めて自転車に触れた子もいたのかなあ～。

当コーナーは、特に場内でも注目された様子で、時間を忘れ長居してしまうほど楽しいオアシスと化しました。
おかげをもちまして、多くの方々に郡山市ふれあい科学館を知っていただき、盛況をもって幕を閉じました。

嬉しくも忙しい3日間を過ごさせていただきました。

(熊谷 晃)

案内 サービス グループ



私は見掛けによらず、慌てん坊の為聞き洩らしてしまった。ボランティア室の掲示板には、「案内ボランティアの方、駅前イベントへの参加者募る」とあり、各日4名ずつ活動のことと貼りだされていた。1日目はすでに希望者が記名させていたが、2日目からは1名不足であり、それでは私も2日目からお手伝いしようと思いサインをした。その後は、通常の活動を展望ロビーで行うため準備をしていた。急遽、駅前イベントの「人手が足りない」という事で駅前まで走った。メインステージでの祝典は午前11時30分迄「愛の音楽会」がバンドや踊りで賑わい会場は大盛況であった。

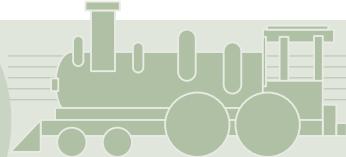


「昔懐かしい紙芝居」の看板を見て「黄金バット」が見たいと無い物ねだりをされてしまった。今度は自宅まで走った。「黄金バット」の絵がとても新鮮で斬新なタッチなので、「浅草女剣劇」で有名な浅香光代さんとの主人の加太こうじさんが書いたものであることを述べ、紙芝居を行った。また、「丹下左膳」、「十五夜お月さんとうさぎ」も行った。紙芝居を終えた後は、折り紙で「うさぎ」を折り、大変喜ばれた。何はともあれこの3日間は走った。紙芝居は9回程演じ終えた。

(金山 一長)



鉄道ジオラマ グループ



鉄道アラカルト あなたも始めませんか。Nゲージ鉄道模型を!

現在、「鉄道模型が趣味だ!」という人が着実に増加しております。

特に「Nゲージ」が主流となり、書店へ行くと鉄道関係書籍のブースもあります。

また、趣味のテレビ番組でも時折放映されています。

自分の好きな時代、景観や都市、鉄道施設等を再現して自分の好きな列車を走らせてみませんか。

ベニヤ板一枚の上
でも十分に楽しむこ
とができます。

また、これらを何枚
もつぎあわせること
によりさらに、夢が無限に広がっていきます。

夢の世界への信号機は緑が示されています。

さあ! "楽しい夢に向かって出発進行"

(渡辺 知彦)



天ボラの ●宇宙ステーションから紙飛行機を飛ばす

知識の泉¹⁸



今回ラジオを聴いていると…「宇宙ステーションから紙飛行機を飛ばす」という話が聞こえきました。

「えっ、紙飛行機? そんなのできるわけないじやん!」

よく聞くと、さうきびの繊維から作った紙に特殊加工し、大気圏突入時の高熱と高速に耐えられるらしいのです。

機体には「この紙飛行機は宇宙から帰還しました。拾われた方はJAXAまでお知らせ下さい」と書かれているそうです。果たして無事帰還することはできるのでしょうか? そして、この紙飛行機を地球で発見することができるのでしょうか? 結果は来年の2月。乞うご期待ください。

(飯泉 良江)

内田博士の 魂の叫び!! ⑬『便利=快適?』

携帯電話やカードをかざして会計を済ませる電子マネーの普及が著しい。「〇〇円でございます」と言わされたならば、カードをレジの横の機械にかざす。「ピ!」これで一件落着。実は私も使っている。小銭の煩わしさから開放され、とにもかくにも楽チン!とは言え、自分の財布にいくら入っているのかがわかりにくくなったり、それまではあまり意識しなかったのだが、前の人気がもついていたりすると、いろいろすることを覚えててしまった。自分が嫌な人間になってしまった。便利=快適のはずがなぜか逆行している自分がいたたまれなくなり、今まで鍵を入れたカードの数は幾知れず。電車内を見渡せば乗客の大部分が携帯電話とにらめっこしているし、休憩スペースや飲食店でも同様。彼らがその携帯電話を家に忘れてきたならば、落ち着かない一日を送らなければならない。何の弊害なのか否か、書籍の巻頭の目次の存在は知っていても、巻末にある索引の存在を知

らない(と言うことは片っ端から調べていない)。ただ黙々と右往左往した挙句、「調べたけど載っていない」の一言で片付けてしまう一方で、インターネットの携帯電話サイトで検索した独善的で偏った情報を鵜呑みにしてしまう。いずれにせよ、目まぐるしい技術の進化による生活の変化。あるノーベル賞受賞者「私ひとりでの成果ではない」それは師匠や共同研究者、陰で支えてくれた人の存在を最初に訴える。そこには私たちが想像を絶するドロドロしたコミュニケーションがあったにちがいない。つまりは人ととのつながりなくして、便利=快適は成立しないものだと実感するし、それはごく限られた人たちのみに言えることではない。



イベント情報


写真は昨年度活動の様子です。

Event Information

ボランティアまつり

10:00~17:00

●3/20(土)~22(月・祝)

毎年恒例の“スペースパークボランティアまつり”が開催されます。

大活躍中のボランティアグループが今年繰り広げた様々なな活動の集大成をみなさんにお贈ります。昔懐かし紙芝居の実演や解説付き鉄道ジオラマショーなど楽しい企画がいっぱいです!みなさまのお越しをお待ちしております。



S.P.V 活動情報(~3月)

案内サービス “昔懐かし”紙芝居

◇平日11:30~、土日祝11:30~、14:30~(約15分)
☆展望ロビー(北) 隨時実演

鉄道ジオラマ ジオラマショー案内

◇平日11:00~のみ、
土日祝11:00~、15:00~(約20分)
☆展望ロビー(東)

他に市内出張活動や駅前イベントにも出展予定

科 学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝10:00~16:00 ☆21階展示ゾーン入館者対象

天 文 駅前観望会

◇3/7(土)19:00~20:00
◇3/14(土)19:00~20:00
◇3/21(土)19:00~20:00
◇3/28(土)19:00~20:00
☆郡山駅西口駅前広場(中央広場)



※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

今号のきら星☆さん

案内サービスボランティアグループ 佐藤サトさん

早いものですねえ～
案内ボランティア活動を始めてもう5年になりました。
年数だけが過ぎた様で案内の知識は足踏み状態ですが、自分なりに無理せず楽しませて頂いております。
展望ロビー22階からの眺めはとても素晴らしい、また、これから冬になると空気が澄んで遠くに蔵王連峰まで見えるときがあります。
そして今でも一番印象に残っていることは、虹を見たことです。

それもガラス越し間近に!! まんまるく!! しかも虹が
それぞれに重なりあったように二重に!! その光景は
未だに忘れられません。感動です。

これも地上96mの高さならではないでしょうか。私は
ありがとうございました。

これかもボランティア活動を通して県内外からのお客様とふれあいを楽しみながらこの郡山を、この郡山市ふれあい科学館をより多くの方々にもっともっと知つて頂けるように心がけて行きたいと思います。



★『S.P.Vつうしん』発行予定 第20号 3月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア
活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで

- ・向寒になりました。健康には十分に留意して、元気に頑張りましょう!! (国)
- ・知識の泉を読んで…是非ともそのロマンあふれる紙飛行機を目にしたいなあ～と思った秋の夜明け。(椎)
- ・広報役員一年目頑張っているつもりですが、まだまだです!! (池)
- ・空が澄んで星がとても綺麗に見える冬が好きです。星はすばる☆ (星)

編集あとがき

